

平成21年9月16日

ニュースリリース

社団法人 日本物流団体連合会

第1回経営効率化委員会を開催

「強毒性H5N1型 新型インフルエンザ対策」について

(社)日本物流団体連合会(物流連)は、平成21年9月14日(月)に第1回経営効率化委員会(委員長:(株)日本航空インターナショナル 代表取締役副社長 縄野克彦氏)を東海大学校友館会議室で開催しました。

委員会のテーマは、発生が危惧されている強毒性新型インフルエンザの感染拡大による、物流というライフラインの機能マヒを回避すべく検討を開始するというものです。

今回の委員会では、ゲストスピーカーに、元国立感染症研究所研究員で、現在、(社)日本経済団体連合会 21世紀政策研究所 シニアアシエイトの岡田晴恵先生をお招きし、ご講演をいただきました。

岡田先生曰く、今回メキシコで発生し今だなお各国で感染拡大が続いている豚由来の「弱毒性」新型インフルエンザによって、従来より危惧されてきた、鳥由来の「強毒性H5N1型」新型インフルエンザに対する危機感が薄れてしまっているとのことでした。

「強毒性H5N1型」新型インフルエンザが蔓延すると、あらゆる社会機能が滞り、甚大な物的人的被害が想定されます。先生は講演の中で、社会基盤である物流業は、ワクチンの優先接種の問題も念頭におき、政府等に働きかけていく必要もあると説明されました。

物流連としましては、従来より継続中の「新型インフルエンザ対策小委員会」においてこの問題を取り扱い、物流業において想定される被害の状況、パターンなどを洗い出し、調査、検討をする予定です。

以上

(連絡先)TEL:03-3593-0139

担当: 浜野